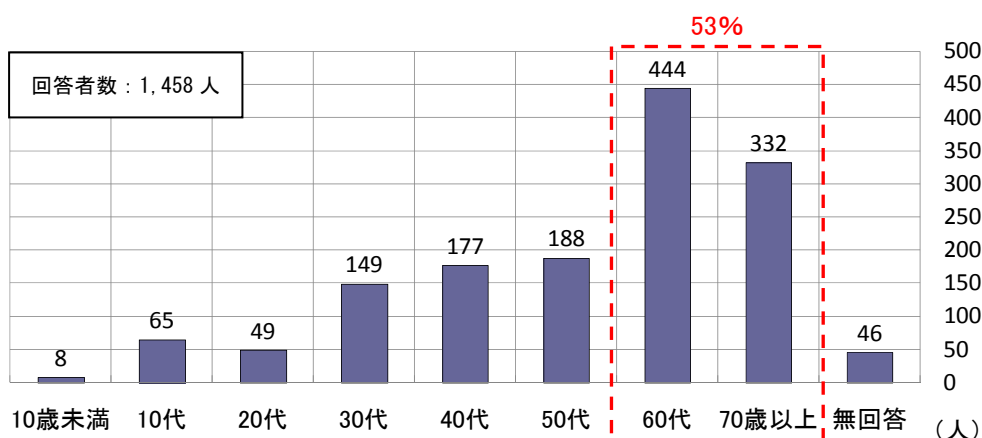


「水に関するアンケート」の結果

「京都市水共生プラン」推進の取組の一環として、水環境の改善に向け市民と行政が共通認識を深めていくために、水に関する意識や取組状況についてアンケート調査を実施しました。アンケートで得られた結果は、今後行政としてどのような支援・施策が必要であるか検討する際の基礎資料として使わせていただきます。

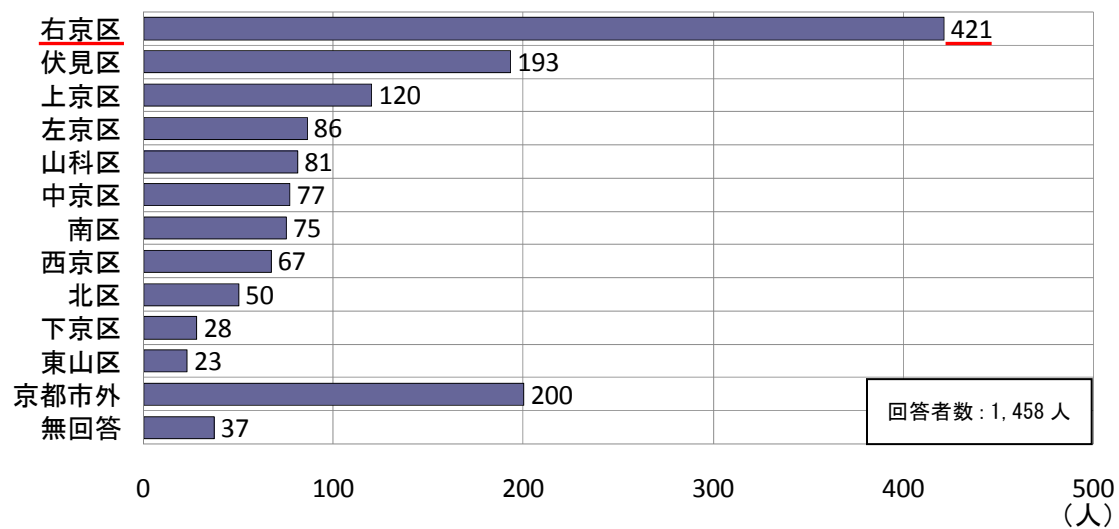
○実施アンケート	水に関するアンケート
○調査場所	堀川通水式典，鳥羽水環境保全センター一般公開， 山ノ内浄水場施設見学会，蹴上浄水場一般公開， 横大路草津みなとフェスティバル， 右京区（市政協力委員連合協議会会長の協力をいただき配布） 京都市情報館（京都市のホームページ）等
○調査期間	平成 21 年 3 月～平成 22 年 7 月末
○有効回答数	1,458 枚

○回答者の年齢別内訳



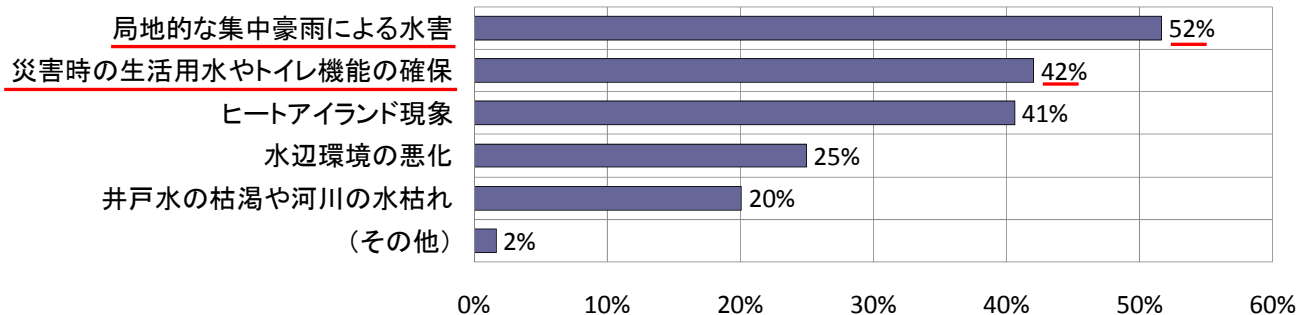
アンケートの回答者は 60 代の方が最も多く、次いで 70 歳以上の方となっています。60 歳以上の方が全体の 53%を占める結果となりました。

○回答者の居住地域



回答者の居住地域別に見ると右京区が飛び抜けて多くなっています。これは、右京区を対象として実施したアンケート結果が含まれているためです。

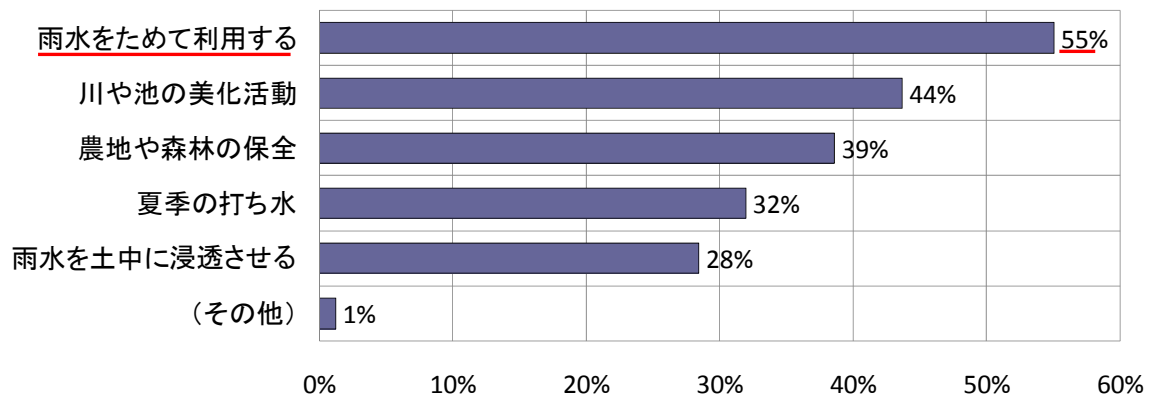
Q 1) 水に関する問題で、あなたが最近気になることは？（複数回答可）



※複数回答が可能な設問のため、百分比の合計は100%になりません。

Q 1に回答された方のうち、52%が「局地的な集中豪雨による水害」、42%が「災害時の生活用水やトイレ機能の確保」に関心を示しています。これら2項目が上位にきていることから、日常生活に直接的な影響が懸念される災害に関する事柄に対して関心が高いことが分かります。

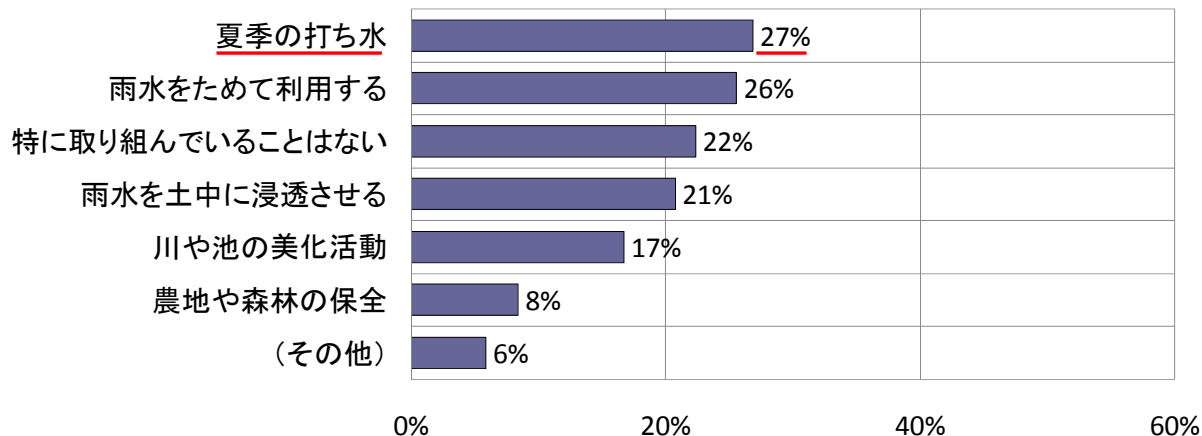
Q 2) 水に関する問題の改善のために、今後どのような取組が必要だと思いますか？（複数回答可）



※複数回答が可能な設問のため、百分比の合計は100%になりません。

水問題改善のために必要なこととして「雨水をためて利用すること」と回答された方が最も多く55%でした。続いて「川や池の美化活動」44%、「農地や森林の保全」39%という結果になりました。

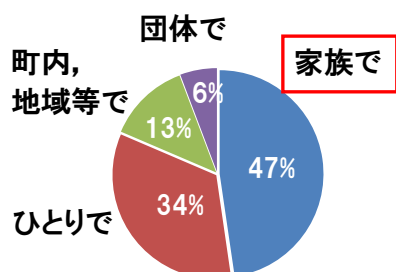
Q 3) 水に関する問題の改善のために、日常あなたが取り組んでおられることは？（複数回答可）



※複数回答が可能な設問のため、百分比の合計は100%になりません。

水に関する問題の改善のために、日常取り組んでいることとして「夏季の打ち水」をあげる方が最も多く、27%という結果になりました。

Q 4) どのような形で取り組んでおられますか？

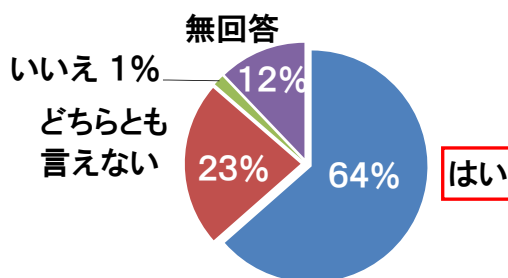


「家族で」取り組んでおられる方が最も多く全体の約半数を占めています。次いで、「ひとりで」取り組んでおられる方が34%となっており、身近なところから水問題の改善に向けて取り組まれていることが分かります。

Q 5) Q 2, Q 3に掲げたような取組をしてみたいと思いますか？

60%を超える方が Q 2, Q 3 であげたような取組をしてみたいと回答しており、非常に多くの方が関心を示していることが分かります。

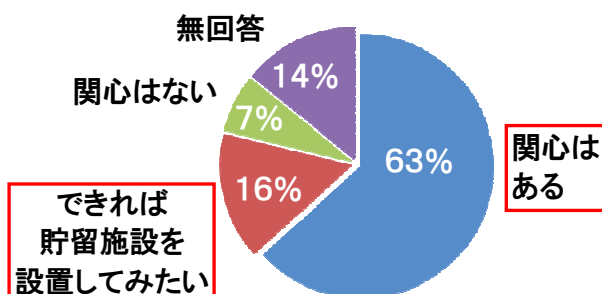
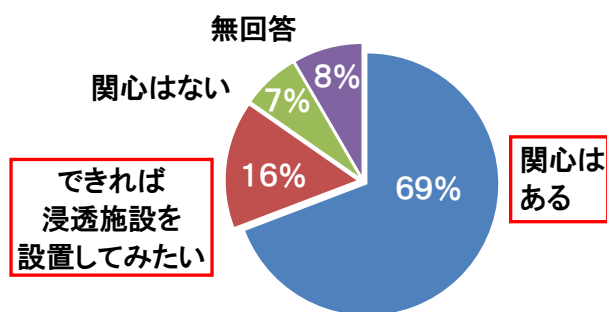
23%の方は「どちらとも言えない」と回答されましたが、その理由としては、時間が無い、費用が掛かる、面倒等の意見がありました。



Q 6) 雨水を土中に浸透させることや、貯留することによって河川や下水道への雨水の流出を低減させることができます。

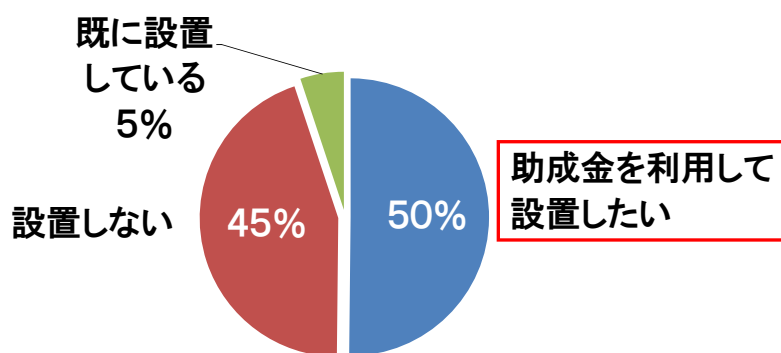
①浸透施設に関心がありますか？

②貯留施設に関心がありますか？



雨水浸透施設、貯留施設ともに、約 80%の方が「関心はある」又は「できれば設置してみたい」と回答されており、非常に多くの方が関心を持っておられることが分かります。

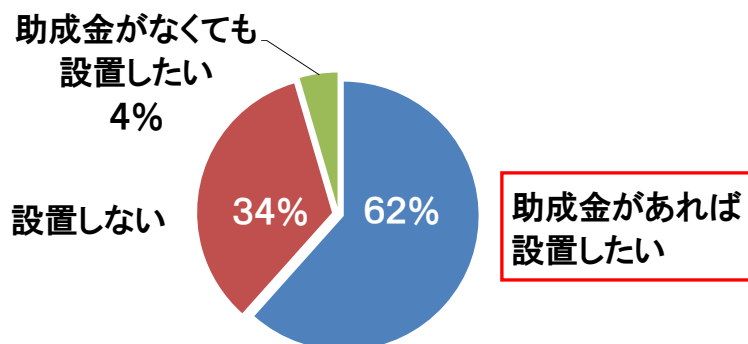
Q 7) 「雨水貯留タンク」を設置したいとおもいますか？京都市では購入費用の半額（上限 2 万 5 千円）を助成する制度があります。



※H22 年度の調査から新たに追加した設問になっているため、回答人数が異なります。（有効回答数 626 人）

「助成金を利用して設置したい」と考えておられる方が、全体の 50%を占める結果になりました。このことから、非常に多くの方が、雨水貯留タンクの設置に対して前向きに考えておられることが分かります。

Q 8)「雨水浸透ます」について、助成金があれば設置したいですか？（助成金制度を検討しています。）



※H22年度の調査から新たに追加した設問になっているため、回答人数が異なります。（有効回答数 617 人）

「助成金がなくても設置したい」と回答された方はわずか 4%ですが、「助成金があれば設置したい」と回答された方は 62%にのぼりました。このことから、雨水浸透ますの普及を促すために、助成制度は導入することは有効な手段であると言えそうです。

Q 9) 水に関することならどんなことでも構いませんので、皆様のご意見や、環境改善につながるアイデア等をお聞かせください。

テーマ別順位表

順位	テーマ	人数(人)
1	雨水貯留	49
2	節水	33
3	河川美化	30
4	浸透	29
5	水道水	27
6	親しみやすい水辺環境の創出	23
7	森林や農地の管理・保全	17
8	水質保全	16
9	河川整備	9
10	打ち水	8
10	地下水	8

※各テーマに分類し、意見が多かったものを 10 位まで記載しています。

主な御意見, アイデア

◇雨水貯留について

- ・雨水タンクを設置する際に補助金を出す。
- ・公共施設に雨水タンクを設置したらいいのではないかな。
- ・雨水を利用することは良いことだと思うが、近所の大きな壺のようなところに水が溜まり、蚊が発生しているので、その問題も一緒に考えてほしい。
- ・雨水を溜めて打ち水に利用している。



雨水タンク

(白川小学校)

◇節水について

- ・日本人は水道を捻ると水が出るので、水を無駄遣いし過ぎていると思う。節水，再利用等，もっと個人が自覚を持てば災害や地球温暖化を防げるのではないかな。
- ・風呂の残り湯や台所の排水を打ち水に使ったり，植木や庭の散水に使ったりして，皆が協力すればよいと思う。
- ・節水に関するキャンペーンを常時行ってはどうか。

◇河川美化について



河川美化活動
(有栖川)

- ・河川美化について，行政の美化は一時的なものになりがちなので，地域住民が中心となる活動の組織化を支援することが大切だと思う。
- ・身近な河川の美化活動に携わりたいと思う。グループで参加しなくても，せめて近くのゴミは拾いたい。
- ・河川清掃活動を実施したとき，集めたゴミの場所により行政管轄，管理が違うと言われ困った。
- ・河川の美化について，気軽にボランティア活動ができるシステムができてほしい。

◇浸透について

- ・街路樹のまわりの土の部分を広くすると良い。
- ・雨水がアスファルトに浸透するようにしてほしい。
- ・市内の歩道を透水性舗装にする。
- ・雨水を浸透するにしても財政が厳しいので、工事、設備費等確保するのは難しいのではないかな。
- ・浸透施設について住民はよくわかっていないと思う。



透水性舗装の事例
(御池通歩道)

◇水道水について

- ・水道水が大変おいしくなった。
- ・水道代を安くなるようにしてほしい。

◇親しみやすい水辺環境の創出について



堀川

- ・「生き物が住む川」や「水遊びができる川」が身近にもっと増えると子供たちが楽しめるのではないかな。
- ・そうすれば、川や水に関心を持つ人が増えると思う。
- ・川岸をコンクリート等で整備するのではなく、自然を活かす、自然と共生する方法を考えてほしい。
- ・堀川のように子供が遊べる水辺環境を作ってほしい。

◇森林や農地の管理・保全について

- ・京都は山に囲まれているので、森林の管理をしっかりとすることで、トレッキングなどの違った観光の資源になり、また、森林の保全につながると思う。
- ・森林や田畑が荒廃し川の水量が減っている。山林整備を進めていく必要がある。
- ・農地・森林をどのように保全していくかを考えるには、農地地域との協力が必要である。



大原野地区のほ場

◇水質保全について



水質調査

- ・地下水を守るためにも，有害物質を安易に捨てないようにすることが大事。
- ・下水道の整備により市内を流れる河川が綺麗になり，魚の泳ぐ姿がよくみられるようになった。今後より一層綺麗になってほしい。
- ・水や土壌は汚染すると浄化するのに莫大な費用が掛かる。節水とともに，汚染しないようにすることが大事。

◇河川整備について



河川改修後の七瀬川

- ・木や草が川の中に生い茂っているので川の整備をしてほしい。
- ・河川の改修や整備は，本川・支川を連携したもので考えるべきである。
- ・桂川の中洲にある樹木が巨大になっている。伐採してはどうか。

◇打ち水について



打ち水
(上下水道局本庁前の道路)

- ・夏季の打ち水は，地球温暖化対策のみならず，町内の防災にも役立つ。
- ・打ち水に水道水を使うのは反対。

◇地下水について

- ・古くからある井戸水の枯渇，湧き水の水枯れを心配している。
- ・災害時には，地下水を利用すればよいと思う。
- ・京都市の地下水の水位が落ちないか心配である。